

プレスリリース

お問い合わせ: 西村総一郎、広報担当
Eメール: jpw_press@nielsen.com
電話: 03-6837-6500

ニールセン、デジタルコンテンツ視聴率の Monthly Total レポートによる キャリア啓発カテゴリの利用状況を発表

2024年2月28日

- 「キャリア啓発」カテゴリのトータルデジタルの月間利用者数は、「Indeed」が最も多く1,063万人
- 上位5サービス合計の性年代別ターゲットGRP (TARP) は、女性18-34歳で最も高く1,378%
- 女性18-34歳の平均利用回数は「en-japan」が最も多く月46回、「Mynavi」が月22回で続く

視聴行動分析サービスを提供するニールセン デジタル株式会社（東京都港区、代表取締役Dean Matthew Richardson）は、ニールセン デジタルコンテンツ視聴率（Nielsen Digital Content Ratings）のMonthly Totalレポートをもとに、キャリア啓発カテゴリの視聴状況を発表しました。

2023年12月のニールセン デジタルコンテンツ視聴率 Monthly Totalレポートによると、キャリア啓発カテゴリのうちPCとモバイルの重複を除いたトータルデジタルの利用者数が最も多かったのは「Indeed」で1,063万人、「en-japan」が576万人で続いていました。また、GRPにおいても、「Indeed」が239%と最も高く、「en-japan」が102%で続いていました（図表1）。

図表1：2023年12月 Monthly Totalレポート トータルデジタル利用者数ランキング キャリア啓発カテゴリ

No.	サービス名	利用者数(万人)	リーチ(%)	月平均利用回数	GRP(%)
1	Indeed	1,063	9.9	24	239
2	en-japan	576	5.4	19	102
3	Mynavi	530	4.9	9	45
4	Townwork.net	501	4.7	16	76
5	Sharefull.com	438	4.1	12	49

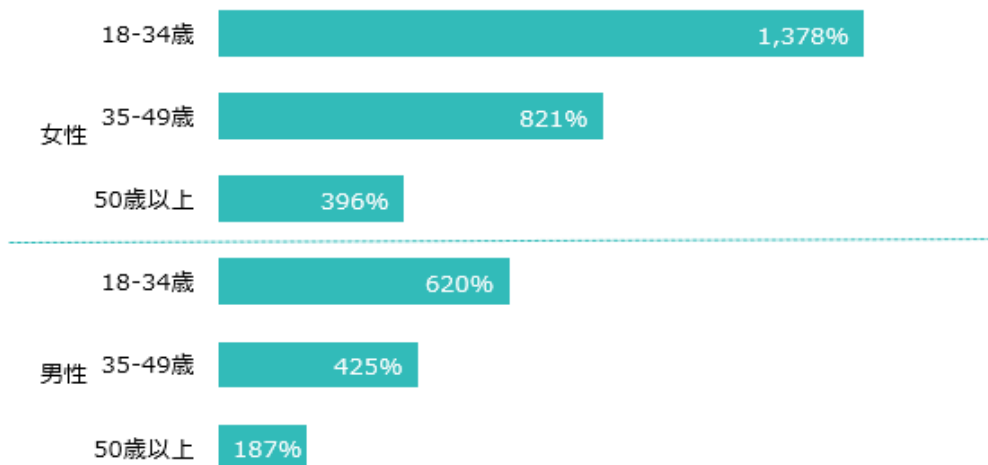
Source: デジタルコンテンツ視聴率 Monthly Totalレポート

※トータルデジタル = PCとモバイルの重複を除いた数値 ※「キャリア啓発」カテゴリのうち利用者数上位5サービスを集計

※18歳以上の男女、Brandレベルでの集計 ※利用とは閲覧のみの利用も含みます

次に、キャリア啓発カテゴリにおける利用者数上位5サービスを合計したターゲットGRP（TARP）を性年代別に見ると、女性18-34歳が最も高く1,378%となっていました。次いで女性35-49歳で821%となり、どの年代でも男性よりも女性のほうが高くなっていました（図表2）。

図表2：2023年12月 キャリア啓発カテゴリ
トータルデジタル利用者数上位5サービスの性年代別GRP



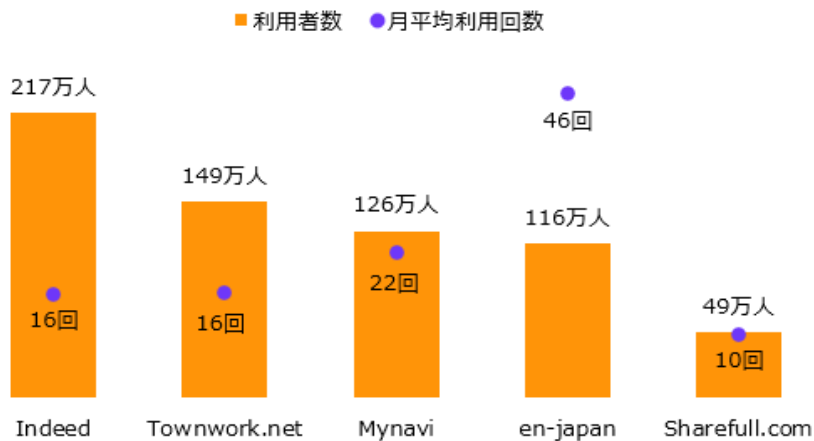
Source: デジタルコンテンツ視聴率 Monthly Totalレポート

※トータルデジタル＝PCとモバイルの重複を除いた数値 ※「キャリア啓発」カテゴリのうち利用者数上位5サービスを集計

※18歳以上の男女、Brandレベルでの集計 ※利用とは閲覧のみの利用も含まれます

最後に、ターゲットGRP（TARP）が最も高かった女性18-34歳の利用状況をサービス別に見ると、利用者数は「Indeed」が217万人で最も多く、次いで全年代の結果と異なって「Townwork.net」が149万人で2位になっていました。また、月平均利用回数では「en-japan」が46回で最も多く、「Mynavi」が22回で続いていた（図表3）。

図表3：2023年12月 キャリア啓発カテゴリ 女性18-34歳の利用者数、月平均利用回数



Source: デジタルコンテンツ視聴率 Monthly Totalレポート

※トータルデジタル=PCとモバイルの重複を除いた数値 ※「キャリア啓発」カテゴリのうち利用者数上位5サービスを集計

※18歳以上の男女、Brandレベルでの集計 ※利用とは閲覧のみの利用も含みます

コロナ以降、テレワークが浸透したことなどを受け、人々の働き方に対する考え方も大きく変化し、企業側の採用ニーズと個々人の就業ニーズをマッチさせることは今まで以上に重要になっていると思われます。そういった中で、キャリア啓発サイトは企業と求職者をつなぐ架け橋として不可欠な役割を果たしています。今回ご紹介したようにキャリア啓発カテゴリでは、性年代により利用状況が異なったり、同じ性年代の中でも利用者数の多いサービスと利用頻度の高いサービスが異なったりしています。そのため、キャリア啓発サイトを運営する企業にとっては、働き方が大きく変化する中で、利用者の動向変化を的確に把握し、これに基づいてターゲットのニーズに応じたコンテンツやプロモーションなどの戦略を立てることが重要になるでしょう。

ニールセン デジタルコンテンツ視聴率 (Nielsen Digital Content Ratings) について

ニールセン デジタルコンテンツ視聴率は、デジタル媒体の全てのコンテンツを、PC、モバイル、タブレット、およびCTVなどの全てのデバイスを横断して計測し、デジタルコンテンツ全体の視聴者のメディア接触と消費量を包括的に把握することを可能にします。媒体社はこのサービスを使うことで、デジタルメディアの消費状況全体を把握でき、広告販売における透明性のあるデータの開示や競争力のある広告メニューの開発をおこなえます。広告主、広告会社は広告購入における適切な予算配分計画をおこなえます。日次データは3日後にはオンラインのインターフェイス上に表示され、顧客企業はデジタルメディアの利用状況をすばやく知ることができます。サービスの詳細は、ウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.netratings.co.jp/solution/dcr.html>

###

【ニールセン デジタル株式会社 会社概要】

社名： ニールセン デジタル株式会社 英文社名： Nielsen Digital Co., Ltd.

本社所在地： 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー11階

資本金： 1億円

設立： 1999年5月

代表者： 代表取締役 Dean Matthew Richardson

主要株主： 米国ニールセン・カンパニー（The Nielsen Company）、株式会社ビデオリサーチ

ニールセン デジタル株式会社は、ニールセン・グローバル・メディアの日本法人として、視聴者分析と広告分析およびメディア分析のソリューションを通じて、お客様のビジネスにおける重要な意思決定を支援するデータ、分析、インサイトを提供しています。製品やサービス、および分析結果のインサイトについては、広告主企業、メディア運営企業、E コマース企業、広告会社より高い評価をいただいています。ニールセン デジタル株式会社のサービス概要、および会社概要は www.netratings.co.jp でご覧いただけます。

ニールセンについて

ニールセンは、視聴者測定、データ、分析におけるグローバルリーダーとして、世界のメディアとコンテンツの形成を担っています。あらゆるチャネルとプラットフォームにおける人々の行動に関する深い理解を通じ、実用的なインテリジェンスによって、将来にわたってクライアントがオーディエンスとのつながりを構築できるようにサポートします。ニールセンは世界 55 カ国以上で測定と分析のサービスを提供しています。詳細は当社ウェブサイトをご覧ください： www.nielsen.com

ニールセン デジタル株式会社が提供しているソリューションと主な製品サービス

AD & CONTENT (デジタル広告/コンテンツ視聴率)

ニールセン デジタル広告視聴率 Nielsen Digital Ad Ratings

ニールセン トータル広告視聴率 Nielsen Total Ad Ratings

ニールセン デジタルコンテンツ視聴率 Nielsen Digital Content Ratings

AUDIENCE (視聴者パネル測定サービス)

インターネット視聴率データ ニールセン ネットビュー Nielsen NetView

スマートフォン視聴率データ ニールセン モバイルネットビュー Nielsen Mobile NetView

MEDIA ANALYTICS (メディア/広告効果分析サービス)

ブランドリフト効果測定サービス Brand Lift Plus

広告効果分析サービス ニールセン デジタルブランドエフェクト Nielsen Digital Brand Effect

デジタル広告/クリエイティブリフト効果調査 ニールセン デジタル広告クリエイティブ評価 Nielsen Digital Creative Evaluation

PLANNING/ ACTIVATION (プランニング/アクティベーション支援サービス)

デジタル広告統計データ digiads

INTERNATIONAL DATA (海外データサービス)

海外広告統計データ Nielsen Ad Intel International

海外消費者視聴動向調査データ Nielsen Consumer & Media View

海外テレビ視聴率データ Nielsen TV Audience Measurement